

科目名	公衆衛生学	科目分類	<input type="checkbox"/> 基礎教育科目 ■ 専門教育科目
			■卒業必修 ■栄養士必修 □選択
英文表記	Public Health	開講年次	<input type="checkbox"/> 1年 ■ 2年
ふりがな	かわい きよひろ	開講期間	<input type="checkbox"/> 前期 ■ 後期 □通年 □集中
担当教員名	川合 清洋	授業形態・修得単位	講義・2 単位
		実務家教員担当科目	
授業のテーマ	公衆衛生学は、地域社会の組織的な努力により疾病を予防することにより寿命の延長をはかるとともに、身体的ならびに精神的能力を増進するための技術と知識を修得する科学であることを理解する。		
授業概要	個々の対象のみならず、公衆すなわち人間集団の健康を考えた領域で「社会」、「環境」、「生活習慣」、「社会保障制度」、「健康にかかわる統計資料」などについて栄養士に必要な知識の習得ができるようにテキストを中心にビジュアル・エイドの活用をはかり講義の展開を行う。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会や環境がヒトにおよぼす影響について理解できる ・疾病の予防、健康の保持・増進に役立つ知見および知識について理解できる ・健康に関連する種々の統計上の問題についての確認と内容が理解できる 		
授業時間外の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習として、テキストの該当箇所の講読 (1 時間) ・事後学習として、授業日の内容の理解と課題レポートについて取り組む (1 時間) 		
履修条件	基礎科学、食品衛生学等の基礎的な内容を十分に理解していること		
授業計画			
第1回	テーマ：ガイダンス、「公衆衛生」とは		
第2回	テーマ：社会と健康 ―ヘルス・プロモーション―		
第3回	テーマ：環境と健康 I 環境汚染と健康への影響 ―ダイオキシン・内分泌攪乱化学物質―		
第4回	テーマ：環境と健康 II 環境衛生―気候・水道・廃棄物処理・衛生動物・騒音・放射線―		
第5回	テーマ：健康・疾病・行動にかかわる統計資料―保健統計・人口静態統計・人口動態統計・生命表―		
第6回	テーマ：生活習慣の現状と対策 I 健康状態と疾病―バイアスの制御―		
第7回	テーマ：生活習慣の現状と対策 II 健康に関連する行動と社会―健康日本21―		
第8回	テーマ：生活習慣の現状と対策 III 喫煙、飲酒、睡眠、休養、ストレス		
第9回	テーマ：主要疾患の疫学と予防対策 I がん 小テスト		
第10回	テーマ：主要疾患の疫学と予防対策 II 循環器疾患・代謝疾患―高血圧・心疾患―		
第11回	テーマ：主要疾患の疫学と予防対策 III 骨・関節疾患・感染症―骨折・骨粗鬆症・関節症―		
第12回	テーマ：主要疾患の疫学と予防対策 IV 精神疾患・自殺・事故死―虐待・暴力―		
第13回	テーマ：保健・医療・福祉の制度 I 社会保障の概念―国・市町村の役割―		
第14回	テーマ：保健・医療・福祉の制度 II 医療制度―医療法―		
第15回	テーマ：保健・医療・福祉の制度 III 福祉制度―社会福祉―		
第16回	定期試験		
テキスト	木村美恵子 他 「公衆衛生学 第3版」 化学同人		
参考文献・資料	後藤政幸ら 「Nブックス 五訂 公衆衛生学」 建帛社		
成績評価の方法	出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。小テスト20%、課題レポート10%、定期試験70%にて評価する。		
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)		
オフィスアワー	1,2年生とも 水曜日 16:20～17:50		
受講生に望むこと・受講のルール	ヒトの健康と社会との関わりについて、諸々の統計データをもとにそれぞれの事項を理解するとともに、将来の病気・疾病の予防を個人および社会全体に対して役立てて欲しい。		